

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標1_子育て・教育】

施策 1-2_家庭、地域の教育力の向上

基本計画		事業番号	細事業名称
1-02-02	学校・家庭・地域の連携協働の推進	03203_01	放課後児童クラブ運営事業
1-02-02	学校・家庭・地域の連携協働の推進	03203_03	放課後児童クラブ障がい児対策事業
1-02-02	学校・家庭・地域の連携協働の推進	10618_01	学校・家庭・地域連携推進事業
1-02-03	青少年健全育成の推進	10101_16	はたちの集い開催事業

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	03203_01		
事業名(行目名称)		放課後児童対策費		細事業名 放課後児童クラブ運営事業				
総合計画	まちづくり	子育て・教育		施策 家庭、地域の教育力の向上				
	基本計画	学校・家庭・地域の連携協働の推進		担当課 学校教育課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	就労している保護者とその児童(小学校1～6年生)			数値	31クラブ		
	手段(どうやって)	令和4年10月1日現在、市内15校区、31クラブを開設しています。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	就労又は疾病のため放課後児童クラブの入会を希望する保護者が、安心して預けられるような児童の居場所づくりに努める。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		142,469	167,535	167,535	139,778	<ul style="list-style-type: none"> ○報酬 133,454千円 ○職員手当等 18,470千円 ○共済費 1,469千円 ○報償費 16千円 ○旅費 4,644千円 ○需用費 5,991千円 ○役務費 2,594千円 ○使用料及び賃借料 397千円 ○備品購入費 500千円 		
財源	県・国支出金	70,375	84,454	84,454	64,983			
	地方債		0	0				
	その他	41,842	40,854	40,854	42,819			
	一般財源	30,252	42,227	42,227	31,976			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
開設クラブ数			目標値	30	31	31	31	31
			実績	30	31	31	31	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
退職する指導員が増加傾向にあるため募集を続けているが、応募がほとんどない状態が続いている。指導員確保に課題がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
児童の健全育成、保護者の就労支援のために今後も事業を継続していく必要がある。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
児童の健全育成、保護者の就労支援のために今後も事業を継続していく必要がある。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	03203_03		
事業名(行目名称)		放課後児童対策費	細事業名	放課後児童クラブ障がい児対策事業				
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上				
	基本計画	学校・家庭・地域の連携協働の推進	担当課	学校教育課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	就労している障がい児(小学校1～6年生)をもつ保護者とその児童		数値	5クラブ			
	手段(どうやって)	加配指導員を配置する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	加配指導員を配置し、障がい児の受け入れ環境を整える。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース ○報酬 5,944千円 ○職員手当等 991千円 ○共済費 72千円 ○旅費 252千円		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		2,322	7,259	7,259	2,345			
財源	県・国支出金	1,540	4,838	4,838	1,562			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	782	2,421	2,421	783			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
障がい児童数			目標値	15	70	70	70	70
			実績	75	68	68	68	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
放課後サービスの利用を希望していても利用することができず、結果的に放課後児童クラブを利用する児童が増加傾向にある。今後も引き続き受け入れ体制を構築する必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
インクルーシブの観点からも利用者の要望に沿った支援を行う必要がある。そのためには支援を要する児童を安全にお預かりするために今後も事業を継続していく。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
インクルーシブの観点からも、利用者の要望に沿った支援を行う必要があるため、今後も加配指導員を配置する必要がある。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10618_01			
事業名(行目名称)		学校・家庭・地域連携推進事業費	細事業名	学校・家庭・地域連携推進事業				
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上				
	基本計画	学校・家庭・地域の連携協働の推進	担当課	学校教育課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	公立小中学校		数値	27校			
	手段(どうやって)	社会総がかりで子どもたちを育むために、全ての公立小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、学校・家庭・地域の連携・協働体制を確立することで、地域に開かれた特色ある学校づくりを進める。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域で学校を支援する仕組みづくりを促進し、子どもたちの多様な学びを支援するだけでなく、地域住民の生涯学習や自己実現に資するとともに、学校を支援する活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の教育力の向上を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		26,666	33,499	33,499	27,402	○報償費 668千円 ○旅費 274千円 ○需用費 154千円 ○役員費 406千円 ○委託料 31,759千円 ○使用料及び賃借料 100千円 ○備品購入費 138千円		
財源	県・国支出金	13,470	17,172	17,172	16,452			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	13,196	16,327	16,327	10,950			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
コミュニティ・スクール数(累計)			目標値	27	27	27	27	27
			実績	27	27	27	27	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
地域人材の育成・配置等により、授業支援などで教職員の業務改善につなげていきたい。また、各校ごとに特色のある取組につながるよう、市内の取組内容を情報共有し、さらなる支援の充実を図ることが重要である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
各校区の取組事例を紹介し、全市的なコミュニティ・スクールの推進と運営の充実を図る。学校・家庭・地域の連携や協力体制の強化を図るため、保護者にもコミュニティ・スクールの仕組みについて、情報提供する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
各校の取組や課題を共有するための協議会を開催する等、今後も各校の特色ある取組の充実につながる支援を行っていく。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10101_16	
事業名(行目名称)		青少年育成強化費	細事業名	はたちの集い開催事業		
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上		
	基本計画	青少年健全育成の推進	担当課	社会教育課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値	
	手段(どうやって)	成人式として実施してきた式典について、改正民法施行後、成年年齢が20歳から18歳に引き上げられたことに伴い、令和4年度からも、名称を「はたちの集い」に変更し、これまでどおり20歳の方を対象に実施する。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	式典を実施することによって、20歳という人生の門出を市全体で祝い励ますよう盛り上げるとともに、改めて郷土「新居浜」に愛着を持つことができる機運の醸成を図る。				
III 投入費用						
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費			239	239	227	
財源	県・国支出金		0	0	0	
	地方債		0	0	0	
	その他		0	0	0	
	一般財源		239	239	227	
○報償費 55千円 ○需用費 98千円 ○役員費 86千円						
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度
参加率		目標値	78	78	1月実施	78
		実績	43	65	1月実施	62
令和6年度						—
V 事中評価						
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する			やや高い
<p>市内の高校生等を中心に、プチモニアンケート等の回答協力を求め、事業の内容意見等の把握に努めたところ、1,000人を超える方の回答があり、「はたちの集い」に、大変関心を持っていただいていることがわかった。アンケートの要望にもあったフォトスポットの設置、障がい者を有する方等への合理的配慮等について、取り組みを進めていきたい。</p>						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
<p>予算は現状維持とするが、式典のオンライン配信やSNSを用いて、会場に来ることができなかった方も含めた参加者同士がつながる場を提供するなど、時流に沿った「はたちの集い」を盛り上げる仕組みづくりに取り組んでいく。</p>						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
<p>より魅力のある事業とするため、プチモニアンケートを活用して、どのような催しをしたらよいか、式典対象者による企画、運営等について、アンケート調査を実施した。調査の際には、今後「はたちの集い」の出席者となる高校、高専等の学生に積極的に回答をしてもらうよう学校に協力依頼を行った効果もあり、20歳以下では705人の方の回答をいただいた。アンケート結果の中で多くの方が希望されていたフォトスポットを会場内で設置をし、多くの出席者から好評を得た。令和6年度については、ペーパーレスの観点からハガキでの案内状配布を廃止するかどうかの検討を行うが、昨年と同等の内容で事業を進めていく。</p>						

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				